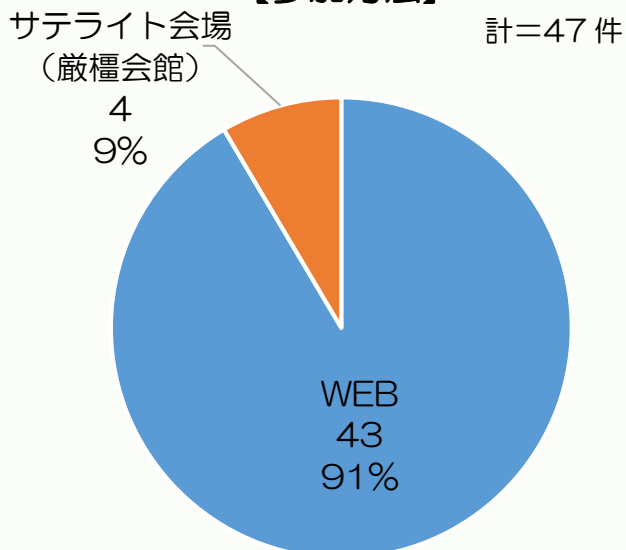


第16回地域医療連携懇話会 アンケート結果報告



【参加方法】

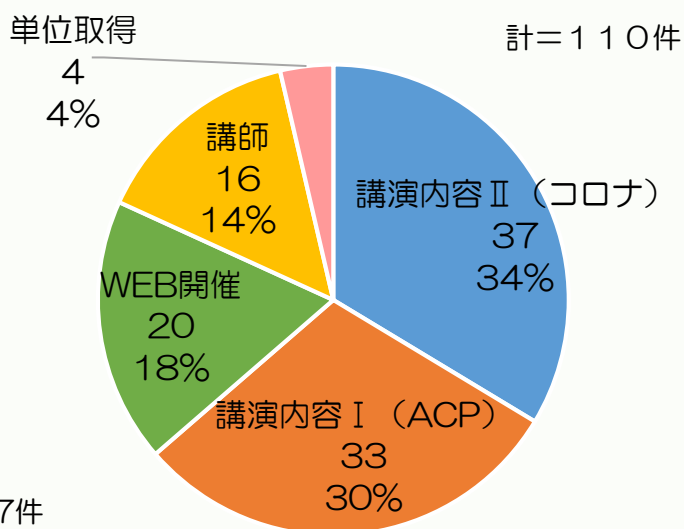


令和3年3月18日(木)
14時~15時30分開催

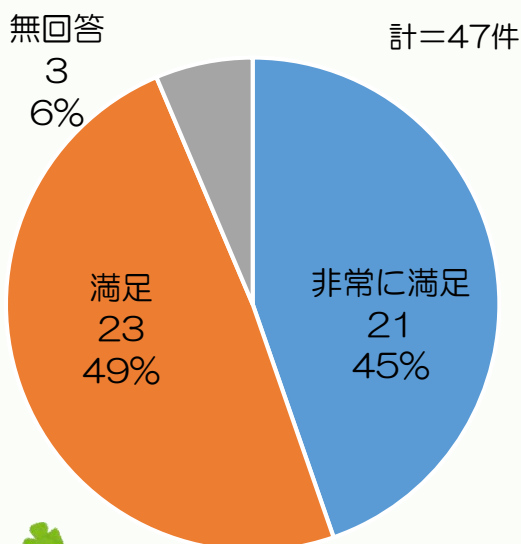


参加者：106名
アンケート回答数：47件
回収率：44%

【参加動機(複数回答有)】



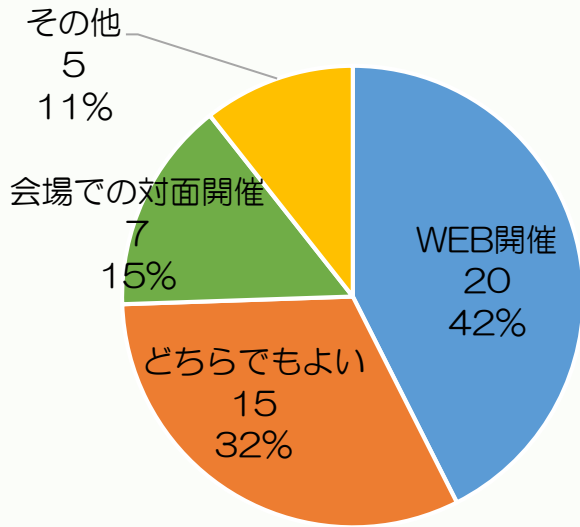
【懇話会全体の満足度】





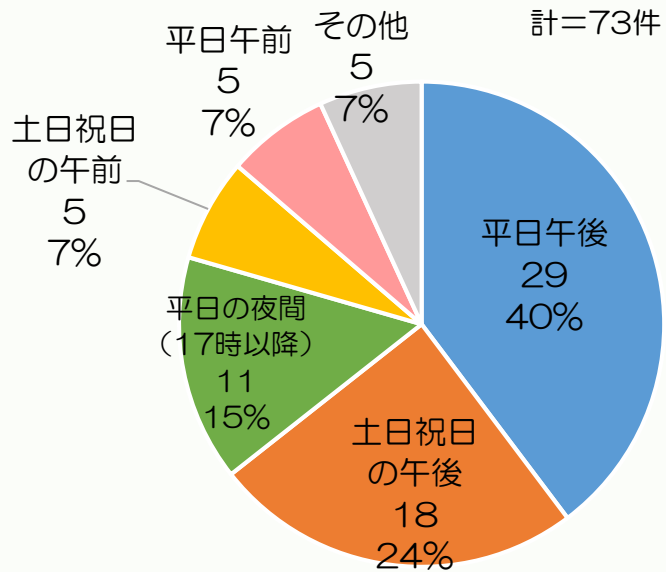
【今後の開催形態希望】

計=47件



【開催日時希望（複数回答有）】

計=73件



【参加者の感想】

- 今後、ACP をどのように医療に取り組んでいくのか、患者にとっても重要なことですが、難しい課題だと思います。
- 日常の中で家族間で話し合っていてほしい内容です。特に高齢になった時や疾病の時は話し合うべきことだと日々感じています。日本の文化にそぐわないかもしれないがこういう発信は必要と感じています。
- これから予想される第4波をどう克服していくか、医療機関がそれぞれの役割を分担して備えていく点が重要と思っています。
- 奈良県の現状が見える化されていてよかった。また先生方、医療関係者のこれまでのご苦労に感謝いたします。
- Web のご案内を頂戴しましたので、初めて参加させて頂く事ができました。
- 今後もハイブリッドで開催してほしい
- 最新トピックスについては興味を持つ職員も多数おり、参加しやすい環境での開催には喜び声が聞かれました。ありがとうございました。

…この他にもたくさんのご感想をいただきました。

【参加者からの質問】

「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実践と課題」

一般社団法人奈良県医師会 副会長 安東 範明先生

【質問】

- 各職種の手順やフロー、院内で利用する書式等を具体的に教えてもらいたい。

【回答】

- ご質問をいただきありがとうございました。ご参考までに以下のサイトをご覧くださいましたら幸いです。
 - 厚生労働省
https://square.umin.ac.jp/endoflife/shimin01/img/date/pdf/EOL_shimin_A4_text_0416.pdf
 - 国立長寿医療研究センター
<https://www.ncgg.go.jp/hospital/iryokankei/documents/hospitalletter15.pdf>
 - 京都市長寿すこやかセンター
<http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/doc/sukosendoc/syumatsuki-jizenshijisyo.pdf>

「新型コロナウイルスのこれまでとこれから」

奈良県立医科大学附属病院 笠原 敬先生

【質問】

- 施設、病院内での研修、勉強会、会議のあり方を模索しています。感染対策上、何らかの基準等があればご教授いただければ幸いです。

【回答】

- 施設、病院内での研修、勉強会、会議における新型コロナウイルス感染症対策についてのご質問だと思います。
新型コロナウイルス感染症対策としては、お互いが鼻と口をしっかりとマスクで覆った状態で会話を行えば、感染リスクは極めて低いと考えられます。その上で、
 - 窓やドアなどを常時、あるいは定期的に開放して換気する。
 - 参加者の距離をなるべくあける。なるべく広い会議室を利用する。
 - ペンやマイクなどの共有物品をなるべく少なくし、使用する場合は使用者が使用前後に手指衛生を行うか、または共有物品を共有する度に消毒する。
 - 途中の飲食は行わない、あるいは別の場所で個別にとる。といった工夫が有効だと考えられます。

ご参加及びアンケートへのご協力ありがとうございました。

今回の懇話会は感染症対策のため、Zoom ウェビナーとサテライト会場を併用した開催となりました。

この状況だからこそできた、新たな懇話会のかたちを実感しました。

貴重な講演をいただいた講師の先生方に感謝申し上げます。

今後も地域との連携構築に向け取り組んで参りたいと思います。